



# 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月6日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2112 URL <http://www.ensuiko.co.jp>  
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）浅倉 三男  
 問合せ先責任者（役職名）専務取締役管理グループ長（氏名）安戸 久仁彦（TEL）(03)3249-2381  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	20,986	△5.2	658	△4.0	550	△4.5	293	3.6
25年3月期第3四半期	22,148	△5.6	686	△19.7	575	△42.4	283	—

（注）包括利益 26年3月期第3四半期 606百万円（30.2%） 25年3月期第3四半期465百万円（45.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	10.91	—
25年3月期第3四半期	10.54	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	25,676	6,784	26.4
25年3月期	26,194	6,313	24.1

（参考）自己資本 26年3月期第3四半期 6,784百万円 25年3月期 6,313百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	27,700	△2.0	700	△18.9	500	19.2	230	214.0	8.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー 社 (社名) ー 、除外 ー 社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	35,000,000株	25年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	8,140,074株	25年3月期	8,140,074株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	26,859,926株	25年3月期3Q	26,860,304株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了されていません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明〔当期の経営成績〕

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和による円安進行などに伴い、輸出関連企業を中心に企業業績は改善し、個人消費は持ち直すなど、景気は緩やかに回復しつつあります。

砂糖業界におきましては、加糖調製品などの影響により砂糖消費量の漸減傾向が続き、消費動向は依然厳しい状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは、改めて平成25年度を初年度とする中期3ヵ年経営計画で策定した、基幹事業の砂糖部門並びに糖類部門（異性化糖、水あめ、でん粉など）及びバイオ部門（オリゴ糖、サイクロデキストリンなど）それぞれの売上高・利益計画の達成に向けて全力で取り組んで参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績及びセグメントごとの業績等は以下のとおりとなりました。

当第3四半期累計期間	金額 (百万円)	前年同四半期比
売上高	20,986	5.2%減
営業利益	658	4.0%減
経常利益	550	4.5%減
四半期純損益	293	3.6%増

また、セグメントごとの業績は次のとおりであります。

当第3四半期累計期間	売上高 (百万円)	前年同四半期比	セグメント利益 (百万円)	前年同四半期比
砂糖事業	19,344	5.2%減	1,281	2.6%減
バイオ事業	1,052	10.4%減	109	19.4%減
不動産賃貸事業	644	3.8%増	43	16.3%減
調整	△55	—	△776	—
連結損益計算書計上額	20,986	5.2%減	658	4.0%減

(注) セグメント利益の調整額△776百万円には、セグメント間取引消去△11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△765百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

## ①砂糖事業

期中の海外原糖市況は、期初17.70セント〔ニューヨーク市場粗糖先物相場（期近限月の引け値、1ポンド当たり。）以下同じ。〕で始まり、主要生産国ブラジルの好調な生産を背景に軟調な動きとなっていましたが、ブラジル国内の港湾施設で発生した火災を引き金として、10月中旬には20.16セントの高値まで上昇しました。その後は、火災の影響が限定的であることが確認されると反落に転じ、これに投機筋の積極的な売りも加わり、12月中旬には15.86セントの安値をつけ、結局16.41セントで当期を終了しました。

期中の国内市中価格〔東京市場現物相場（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり。）〕は、期初182～183円で始まりましたが、海外原糖相場の上昇や円安による燃料代の増加を受け、11月末日に3円上昇して185～186円となり、同一水準のまま当期を終了しました。

## ・国内精糖

販売数量につきましては、夏場以降低調な荷動きとなっておりますが、11月に出荷価格を3円引き上げたことにより駆け込み需要が発生し、前年同期並みの結果となりました。売上高は、前年同期と比べて販売単価が低かったことにより前年同期を下回りました。

- ・その他糖類

異性化糖などの国内販売については、堅調な荷動きとなりましたが、為替リスク等の軽減を図るため、海外事業を縮小した結果、売上高は減少いたしました。

- ② バイオ事業

- ・オリゴ糖

家庭用「オリゴのおかげ」は、引き続き商品価値の啓蒙と、正しい使い方などの理解普及に努めるとともに、特に子育て世代に向けたサンプリング等を実施した結果、一定の成果を上げました。

業務用は、新規採用に向けた営業活動に努めました。

- ・サイクロデキストリン（CDと略称。）

飲料、健康食品などの食品分野のほか、非食品分野への拡販に努め、CD二次品（CDで加工した製品）の売上高は前年同期を上回るペースで推移しましたが、練り製品向けと非食品分野の既存ユーザー向けの販売数量が前年同期を下回りました。

以上から、当期におけるバイオ事業全体の売上高は、主にCDの販売数量が減少したため、前年同期を下回りました。

- ③ 不動産賃貸事業

関西製糖株式会社への大阪工場設備の賃貸、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました。

研究開発につきましては、前期に引き続き肝機能改善などの機能を有するグルクロン酸の新規工業的生産技術のノウハウにつき、第三者への貸与等に努める一方、バイオプラスチック原料となり得るグルカル酸の利用に関する応用研究に取り組みました。また、抗がん剤「糖修飾パクリタキセル」をリポソームに包み込み、副作用を大幅に軽減し得る「がんミサイル療法」に関しましては、実用化に向けて共同研究開発を進めました。

また、米粉を原料とした乳化機能を有する食品素材の開発につきましては、大量生産技術による製法の実用性評価を行い、商品化に向けて鋭意取り組みました。

バイオ製品（オリゴ糖、CDなど）の研究開発につきましては、製造コストの低減と品質向上のための製法改善に取り組むとともに、新たな機能の開発と探索に努めました。

- (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて518百万円減少し、25,676百万円となりました。これは主に原材料及び貯蔵品、繰延税金資産の減少によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べて989百万円減少し18,891百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べて471百万円増加し、6,784百万円となりました。これは主に、上場有価証券の時価評価額及び利益剰余金が増加したことによるものであります。

- (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年11月7日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,414	999
受取手形及び売掛金	1,879	2,222
商品及び製品	971	987
仕掛品	256	142
原材料及び貯蔵品	1,249	1,054
繰延税金資産	65	80
その他	1,127	1,150
流動資産合計	6,964	6,638
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,582	9,637
減価償却累計額	△5,062	△5,263
建物及び構築物(純額)	4,520	4,373
機械装置及び運搬具	11,166	11,247
減価償却累計額	△9,405	△9,574
機械装置及び運搬具(純額)	1,761	1,673
工具、器具及び備品	398	415
減価償却累計額	△349	△364
工具、器具及び備品(純額)	49	51
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	14	46
有形固定資産合計	11,580	11,379
無形固定資産		
ソフトウェア	62	69
ソフトウェア仮勘定	32	1
その他	7	6
無形固定資産合計	102	77
投資その他の資産		
投資有価証券	5,147	5,346
長期貸付金	1,335	1,382
繰延税金資産	982	768
その他	109	96
貸倒引当金	△27	△13
投資その他の資産合計	7,546	7,580
固定資産合計	19,230	19,037
資産合計	26,194	25,676

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,382	639
短期借入金	9,181	11,579
未払法人税等	54	80
未払消費税等	56	160
賞与引当金	79	40
その他	1,027	1,075
流動負債合計	11,780	13,575
固定負債		
長期借入金	6,411	3,764
退職給付引当金	1,144	1,056
その他	544	494
固定負債合計	8,099	5,315
負債合計	19,880	18,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	266	266
利益剰余金	7,798	7,955
自己株式	△3,117	△3,117
株主資本合計	6,697	6,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△367	△58
繰延ヘッジ損益	△16	△12
その他の包括利益累計額合計	△384	△71
純資産合計	6,313	6,784
負債純資産合計	26,194	25,676



## (2) 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	22,148	20,986
売上原価	18,713	17,554
売上総利益	3,434	3,431
販売費及び一般管理費	2,748	2,773
営業利益	686	658
営業外収益		
受取利息	33	31
受取配当金	97	97
デリバティブ利益	20	—
雑収入	31	13
営業外収益合計	184	141
営業外費用		
支払利息	118	100
持分法による投資損失	149	141
支払手数料	24	4
雑損失	2	3
営業外費用合計	294	249
経常利益	575	550
特別利益		
投資有価証券売却益	15	10
特別利益合計	15	10
特別損失		
投資有価証券売却損	7	15
投資有価証券評価損	16	—
その他	4	—
特別損失合計	28	15
税金等調整前四半期純利益	562	545
法人税、住民税及び事業税	242	216
法人税等調整額	36	36
法人税等合計	279	252
少数株主損益調整前四半期純利益	283	293
四半期純利益	283	293

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	283	293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	202	290
繰延ヘッジ損益	△10	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	19
その他の包括利益合計	182	313
四半期包括利益	465	606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	465	606
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,392	1,158	596	22,148	—	22,148
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	16	24	56	△56	—
計	20,407	1,175	621	22,204	△56	22,148
セグメント利益	1,316	135	52	1,503	△817	686

(注) 1. セグメント利益の調整額△817百万円には、セグメント間取引消去△9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△808百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上 額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,329	1,037	619	20,986	—	20,986
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15	15	24	55	△55	—
計	19,344	1,052	644	21,042	△55	20,986
セグメント利益	1,281	109	43	1,434	△776	658

(注) 1. セグメント利益の調整額△776百万円には、セグメント間取引消去△11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△765百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。